

今年は“塩のみ”のシンプルな味付け

自然に優しい農法で生まれた商品をより身近にお届けしたいから

大分県産の有機じゃがいもを使用した

ポテトチップス うすしお味

8月2日（月）九州・近畿エリアのイオン331店舗で限定発売！

イオン九州株式会社（以下、イオン九州）とイオンアグリ創造株式会社（以下、イオンアグリ創造）およびカルビー株式会社（以下、カルビー）は、それぞれの事業分野で連携し、昨年に引き続き『大分県産の有機じゃがいもを使用したポテトチップス うすしお味』をイオン九州とイオンリテール株式会社近畿カンパニー※の「イオン」「イオンスタイル」「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」331店舗（九州245店舗・近畿86店舗）にて限定販売いたします。

※イオンリテール株式会社近畿カンパニーは大阪府、京都府、奈良県、兵庫県、滋賀県、和歌山県の「イオン」「イオンスタイル」を運営しています。

8月2日(月)発売予定

大分県産の
有機じゃがいもを使用した
ポテトチップス
(うすしお味)
75g

本体 **248円**
税込267.84円

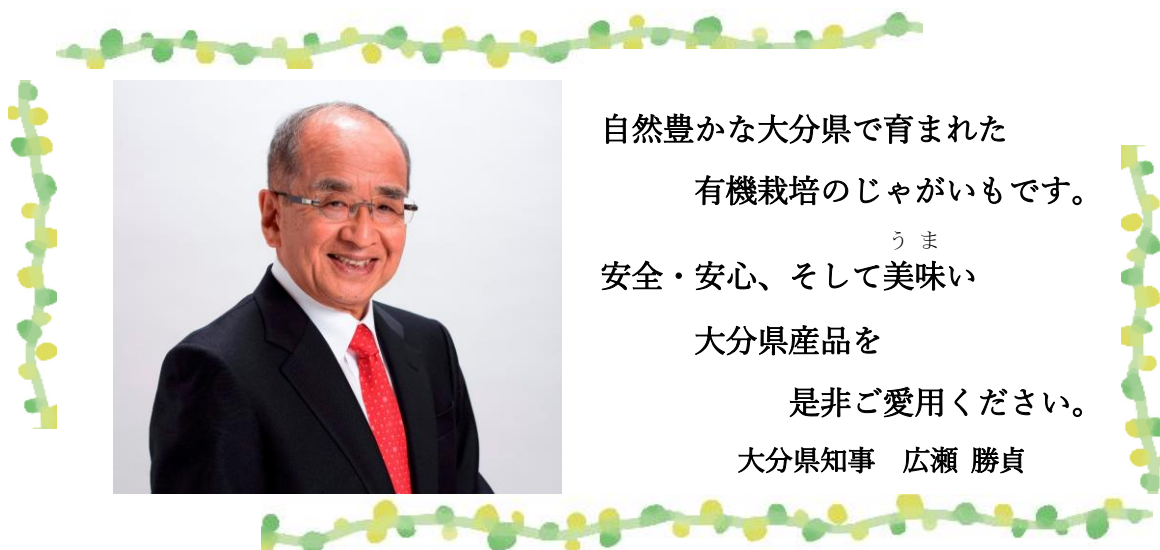


このプロジェクトは持続可能な方法で生産された作物を商品化することで、環境に配慮した商品をより身近に消費者へ届けたいというイオン九州の提案に対して、イオンアグリ創造は有機JAS認証の大分九重農場にて原料となるじゃがいもの栽培、そしてカルビーは商品化でそれぞれに協力をいただきスタートいたしました。2016年より土作りなど土壌作りをスタートし、

2017年から2018年の試験栽培を実施。2021年の3月に苗植え、7月中旬に収穫された有機栽培じゃがいも約13トンを使用し、カルビー鹿児島工場にて商品化されました。今年は、じゃがいも本来の味を感じていただけるように、シンプルな“塩のみ”で味付けしました。パッケージも“素材感”が伝わるようなデザインにしました。



今回大分県で有機栽培されたじゃがいもを使用したポテトチップスの発売にあたり、大分県
広瀬県知事よりコメントを頂戴いたしました。



自然豊かな大分県で育まれた
有機栽培のじゃがいもです。
うま
安全・安心、そして美味しい
大分県産品を
是非ご愛用ください。
大分県知事 広瀬 勝貞

■商品について



商 品 名：大分県産の有機じゃがいもを使用した
ポテトチップス うすしお味
規 格：1袋 75g
価 格：本体価格 248円(税込267.84円)

発 売 日：8月2日(月)
販 売 店 舗：■イオン九州
九州の「イオン」「イオンスタイル」
「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」245店舗
■イオンリテール近畿カンパニー
大阪府、京都府、奈良県、兵庫県、滋賀県、
和歌山県の「イオン」「イオンスタイル」
86店舗

■予約販売について



こちらから
ご確認くださいませ→



※予定上限に達し次第、販売を終了いたします。

イオン九州のオンラインストア 「AE STORE (イーストア)」にて 先行予約を承り中です！

商 品 名：大分県産の有機じゃがいもを使用した
ポテトチップス うすしお味
規 格：ケース販売 1ケース(75g×12袋)
※お一人様1ケース限りの販売です。
価 格：本体価格 2,976円(税込 3,214.08円)
ご予約承り：予約上限に達し次第、終了
配 送：8月2日(月)から順次
※配送日の指定はできません。
特 典：カルビーエコバッグをプレゼント

■『大分県産の有機じゃがいもを使用したポテトチップス うすしお味』ができるまで



3月 苗植え



6月 草刈り



7月中旬 収穫



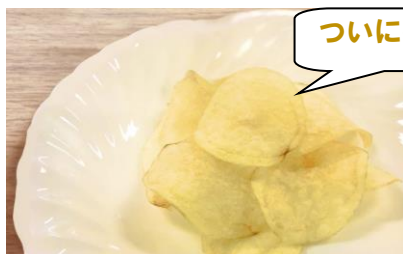
7月中旬 立派な有機栽培のじゃがいも！



7月下旬 カルビー鹿児島工場にて加工



※写真は、新宇都宮工場で2019年以前に撮影したものです。



じゃがいも本来の味を感じただけのように
今年は“塩のみ”でシンプルな味付けに！

じゃがいもへのこだわりについて

2012年に世界基準の農業生産工程管理認証である
GLOBAL G.A.Pを、2018年には有機JAS認証を取得した、
「イオンアグリ創造(株)大分九重農場」で栽培した、
こだわりのじゃがいもです。

◆ポテトチップスができるまでの動画は、こちらからご確認ください →



■イオンアグリ創造大分九重農場について



左から佐藤農場長と川口副農場長

住 所：大分県玖珠郡九重町
開 場：2011年6月
面 積：14ha
栽 培 品 種：白ネギ
オーガニックじゃがいも
オーガニックブルーベリー
■農業生産工程管理 GLOBAL G. A. P. 認定取得
■有機JAS認定農場

有機じゃがいもの栽培にあたっては、
「日本農林規格等に関する法律」(JAS法)で
決められた肥料・農薬でしか栽培ができない為、
常に圃場巡回を行い、除草や害虫退治を
行ってきました。